



Elekta Unity Web Symposium

MR 画像誘導前立腺癌放射線治療の現状と進展

Elekta Unity
Your pathway to
delivering signature
therapy



日時



2022年3月15日(木)
19:00-20:00

参加登録は QR コード



または

<https://is.gd/KJigb1>

へアクセス

Register now

主催：エレクタ株式会社



Elekta Unity MR リニアックシステムに関する最新の話をご提供する第9回 Elekta Unity Web Symposium を2022年3月15日(火) 19:00 から開催させていただきます。

今回は、「MR 画像誘導前立腺癌放射線治療の現状と進展 (Current status and developments in MR guided prostate cancer radiotherapy)」と題して、ユトレヒト大学医療センター 放射線腫瘍科 Associate Professor の Jochem Richard Nicolaas van der Voort van Zyp (ヨハム・ヴァン・ザイプ) 先生にご講演いただきます。

【ご講演要旨】

磁気共鳴画像誘導リニアック (MR リニアック) システムの臨床導入により、ユトレヒト大学医療センター (UMC ユトレヒト) では、限局性前立腺癌の治療ワークフローが変わった。MR リニアックシステムでは、MRI 装置 (1.5T) とリニアックが統合されており、患者が治療台に寝ている間に、撮像、輪郭の変更、再治療計画が可能である。照射直前の MR 撮像により、治療毎の腫瘍の動きと組織の変形に対する補正が可能になる。

UMC ユトレヒトでは、MR リニアックで治療された患者に対し、ユトレヒト前立腺コホート研究に参画してもらっている。10年間にわたり、患者背景や治療特性、治療成績、毒性、QOL が前向きに収集され、手術 (前立腺切除)、従来の放射線治療、監視療法等の標準治療と比較される。MR リニアックによる治療の初期評価結果は有望であり、治療された最初の200人の患者では毒性が低く、想定外の有害事象報告はないが、より長期にわたるコホートの観察が必要である。近い将来、さらなる技術の進歩により、照射中のビーム補正が可能になり、分割照射回数が2回まで低減するなど、限局性前立腺癌患者のための新たな治療が可能になるだろう。初期の経済的医療評価では、MR リニアックを用いた限局性前立腺癌に対する治療は、オランダの医療制度において費用対効果が高いことを示した。

The 9th Elekta Unity MR-Linac Web Symposium

日時

2022年3月15日(火) 19:00-20:00 (Q&A 19:50-20:00)

演題

MR 画像誘導前立腺癌放射線治療の現状と進展

(Current status and developments in MR guided prostate cancer radiotherapy)

演者

Dr. Jochem Richard Nicolaas van der Voort van Zyp

Associate professor, Radiation Oncology, UMC Utrecht

参加には事前登録が必要です。

アクセス集中によるトラブルを防ぐため、視聴は事前登録制とさせていただきます。(無料)
上部の QR コードからも参加登録が可能です。コードをカメラで読み込んでアクセスしてください。